

※“南風”は、県南教育事務所HPへ随時アップします。(岩手県教育委員会HPからご覧ください)



「知・徳・体」を総合的に兼ね備えた、 社会を創造する能力を育てる「人間形成」

今年度、県南教育事務所では、「人材育成」「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」「共に学び、共に育つ教育（特別支援教育）」を重点として事業に取り組んで参ります。今号では、この5つの重点の指標について紹介します。

今年度の5つの重点に関わる指標について

岩手で、世界で活躍する人材の育成

＜目標＞「いわての復興教育」及びキャリア教育等の推進により、社会の変化に対応し、岩手の産業や地域を支える人材や、世界で活躍する人材を育成する。

	小学校			中学校		
	H29 値	H30 値	R1 目標値	H29 値	H30 値	R1 目標値
将来の夢や目標をもっている児童生徒の割合 (肯定回答) (小6・中3) 【全国学調児童生徒質問紙より】	86.3%	85.4%	86.7%	70.9%	73.5%	74.0%
自分の住む地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがある児童生徒の割合 (肯定回答) 【全国学調児童生徒質問紙より】	48.0%	51.9%	55.0%	42.2%	47.6%	51.0%

この項目は、復興教育とキャリア教育を併せて推進し、地域に貢献する人材育成を目指したものです。

「岩手県教育振興計画」施策の1つ目であり、「将来の夢や目標をもっている児童生徒の割合」は、「いわて県民計画（2019～2028）」第1期アクションプランのいわて幸福関連指標にも掲げられている内容です。



「確かな学力」の育成に関わって

＜目標＞各学校において「主体的・対話的で深い学び」に向けた授業改善が行われ、児童生徒一人一人に基礎的・基本的な知識・技能及び思考力・判断力・表現力等や自立的に学ぶ態度を身に付ける。

	小学校			中学校				
	H30 値			R1 目標値	H30 値			R1 目標値
授業で、自分の考えを深めたり広げたりしている児童生徒の割合 (積極的肯定回答) 【県学調児童生徒質問紙より】	35.0%			37.0%	33.8%			37.0%
学校の授業がよくわかる児童生徒の割合 (積極的肯定回答) 【県学調児童生徒質問紙より】	H28 値	H29 値	H30 値	51.0%	H28 値	H29 値	H30 値	35.0%
	50.4%	50.1%	48.8%		29.5%	32.2%	34.0%	
	H28～30の平均値 49.8%				H28～30の平均値 31.9%			



1つ目の項目は、新たに設定した指標です。授業改善の視点でもありますが、児童生徒がどのように学んだか自覚できる授業づくりにつなげる指標でもあります。

2つ目の項目は、昨年度と同じ項目ではありますが、指標は積極肯定に着目しています。先生方の取組により肯定回答は8～9割に達しています。そこで、積極肯定と学力の相関が高いことから積極肯定に焦点化し設定しました。

「豊かな心」の育成に関わって

＜目標＞生徒指導や道徳教育等の充実により、児童生徒一人一人の豊かな情操や自己肯定感の育成及び良好な人間関係を構築できる協調性を育成する。

	小学校				中学校			
	H28 値	H29 値	H30 値	R1 目標値	H28 値	H29 値	H30 値	R1 目標値
人が困っているときは、進んで助けよう と思う児童生徒の割合（積極的肯定回答） 【県学調児童生徒質問紙より】	66.9%	64.2%	61.9%	67.0%	58.6%	60.4%	65.8%	66.8%
	H28～30の平均値		64.3%		H28～30の平均値		61.6%	
いじめはいけないと思う児童生徒の割合 （積極的肯定回答） 【全国学調児童生徒質問紙より】	86.7%	86.2%	87.8%	91.8%	82.2%	81.5%	85.1%	88.4%
	H28～30の平均値		86.9%		H28～30の平均値		82.9%	
新規不登校児童生徒発生率 （不登校児童生徒の発生率） 【不登校の状況調査より】	0.14% (0.28%)	0.15% (0.29%)	0.26% (0.43%)	0.15% (0.41%)	0.84% (2.24%)	0.83% (2.24%)	1.09% (2.86%)	0.85% (2.58%)

各校の取組の成果により“いじめはいけないと思う児童生徒の割合”は上昇傾向です。しかし、まだ“そう思っていない”児童生徒もいるという実態を踏まえ、見守っていく必要があるという思いを込めた指標です。

新規不登校児童生徒数は、増加傾向です。大事にしていきたい「未然防止、早期発見・適切な対応」に係る研修を実施予定です。



「健やかな体」の育成に関わって

＜目標＞児童生徒が自らの体力や健康に関心をもち、生涯にわたって運動に親しむ資質や能力を身に付けることにより、体力の向上と心身の健康の保持増進を図る。

	小学校				中学校			
	H28 値	H29 値	H30 値	R1 目標値	H28 値	H29 値	H30 値	R1 目標値
「体力・運動能力調査」の総合評価（5段階：A～E）がA・B・C段階の児童生徒の割合 【体力・運動能力調査】	75.6%	78.5%	76.4%	77.3%	83.4%	84.0%	82.9%	83.3%
	H28～30の平均値		76.8%		H28～30の平均値		82.9%	
「定期健康診断」の肥満度が正常の範囲内（-20%～20%）の児童生徒の割合 【定期健康診断】	86.1%	83.5%	84.7%	85.8%	87.2%	85.5%	87.5%	87.1%
	H28～30の平均値		84.7%		H28～30の平均値		86.7%	



課題は「体力向上」と「肥満予防・対策」です。この2つの課題を一体として捉え、「望ましい生活習慣の確立」を目指して、各校での取り組みを工夫していただくとともに、事務所研修の充実も図っていきます。

「共に学び、共に育つ教育（特別支援教育）」の推進に関わって

＜目標＞「共に学び、共に育つ教育」の理念のもと、支援を必要とする児童生徒一人一人に対する教育的ニーズにきめ細かく応える支援体制を整備し、個々のもてる力を伸ばしていく。

	小学校		中学校	
	H30 値	R1 目標値	H30 値	R1 目標値
特別支援学級に在籍している児童生徒のうち、「個別的教育支援計画」を作成している児童生徒数の割合 【特別支援教育体制整備状況調査より】	97.4%	100%	89.0%	100%

「個別的教育支援計画」は、支援が必要な子ども一人一人について福祉、医療、労働等の関係機関との連携・協力を図りつつ、乳幼児期から学校卒業後までの長期的な視点に立って継続的な支援体制を整え、一貫して望ましい成長を促すための教育的支援を行うために作成するものです。

- ・特別支援学級に在籍する児童生徒や通級による指導を受ける児童生徒については、全員作成し活用するものです。
- ・必要に応じて随時更新していくことが大切です。
- ・本人及び保護者の意向や将来の希望などを踏まえて作成することが大切です。

県南教育事務所では、「県南の明日を開き、未来へつなぐ人づくり」を目指した教育を実施していきます。